

平成 30 年度学校評価委員による幼稚園評価

A 評価委員

園の方針が確立されており、共通理解が図られていると思います。行事のたびに子供の笑顔や先生方の笑顔にほっとして、常に癒されています。幼稚園でしかできない集団行動を家庭からの応援を受けて、積極的に取り組んで欲しいと思います。

評価結果 ④

- 園長・副園長を主体として、チームワークよく園の運営がなされている。日々の保育・行事が計画的に園児の年齢に応じて無理なく行われている。施設・設備は安全に幼児の目線に合わせて提供されている。保護者の協力体制がよくできていた。

B 評価委員

『自己評価のためのチェックリスト』は自分自身を見つめ直すとても大切な取り組みです。ただし、日々の業務において「チェックリスト」のための業務にならないよう留意ください。主役は園児です。保護者の皆さんとの対話をしっかり行い、楽しく明るい園生活が送れるよう課題克服に努めてください。

評価結果 ④

- 2018年の貴園の教育方針に基づき、教職員の園児に対する心がけがしっかり実践されています。各年齢児に対する年間目標も日々の園生活や年間行事を通じて、確実に成果を上げています。来年度も頑張ってください。

C 評価委員

子ども達に寄り添い、温かく指導していて素晴らしいと思います。教職員の人数も増えましたが、変わらず全員が協力して気持ちのいい環境だと思います。

評価結果 ④

- 現職家でも、とても良い教育環境を作り上げていると感じていますが、さらに向上を目指して、より良いふたば幼稚園を目指す姿勢がとても素晴らしいです。

D 評価委員

様々な行事のたびに、お邪魔していますが、そのたびに温かい気持ちになります。それと同時に先生方全員の意識の高さに頭が下がります。いつもありがとうございます。毎回素晴らしいと思うのは、次世代の子供たちを本気で育てようとしていることです。それも一方的ではなく、子ども達が興味を持つのを上手に手助けしているという印象を持ちました。

評価結果 ④

- 教育目標にある、「7つの幼児増」を先生方全員が理解し、全員で取り組んでいる。

E 評価委員

いろいろと課題を挙げて、自己研鑽していくことは大切だが、それが先生の負担になってはしょうがないので、なるべく負担にならないよう、外注や補助員（シルバー人材）、AI（ロボット）等の導入を考えるのも面白いと思う。今すぐでなくて長期計画で。

評価結果 ㊤㊤

- 「目配り」「気配り」「心配」が大変よくできています。

F 評価委員

次年度から、園児の無償化に伴い、国・県・市町村からの指導、要請が一層高まるのではと考えると、園の今後の取り組むべき課題適切であると思います。

多分、評価委員会の見直し（人選、役割、任期等）の要請もあるのではと思います。（私の場合、年齢、地域、健康面で問題になるのでは？

評価結果 ㊤

- 園での各種行事（秋季大運動会、60周年記念式典、評価委員会での園児の発表や資料等の説明）を通して、判断させていただきました。